

地域協働型社会に向けた市・区による提案公募型まちづくり助成制度の発展経緯とその現状評価

日本建築学会計画系論文集/ No. 606/ pp. 115-122/ 2006年8月

正会員 内 田 奈 芳 美 君

まちづくりにおける新たな胎動としての提案公募型助成制度を「地域協働型社会」という方向軸に位置づけ、その発展経緯を丁寧に分析し、さらにそれらをダイアグラムに表した興味深い論文である。その上で、アンケート調査およびヒアリング調査などによる現状実態の解明を行い、制度活用の担い手育成のために必要な方策を段階的に整理し、それを評価指標にしながらい提案型助成制度に必要な課題を段階別に抽出している。ここで提起している「地域協働型社会」は、政治的・社会的成熟過程とも重ね合わせて考えていくべき包括的・学際的な課題であり、都市計画研究分野において、このような基礎的なスタディを丹念に進めたうえでの考察結果は貴重である。つまり、今後のまちづくりや地域社会再生の課題に対する貢献も十分期待できるものである。